

南町一丁目だより

発行日 平成 26 年 7 月 1 日
発行者 南町一丁目自治会
編集者 広報編集委員会
電話 221-2728 (谷中)

第 21 号

自治会長挨拶

平素は自治会の各種事業に対し、町内皆様のご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

本年 4 月より「安心安全な町づくり」の第 1 弹として「防災組織の見直し」と「災害時の避難支援(地域の助け合いの推進)」をスタートさせましたが、本年度はその第 2 弹として「地域の見守り」活動について検討をしてまいります。

町内の高齢化が進むなか、隣人同士の助け合いにより身体の不自由な方や、一人暮らしの方が心配なく日々の生活を送れるよう、町全体で見守っていく事業です。

出来るだけ早くスタートするよう努力してまいりますが、町内の皆様の協力がなければ推進出来ない事業ですので、スタート時には何卒ご支援賜りますようお願いいたします。

また、青少年の健全育成に対する町内の取り組みとして、通学時や下校時に生徒さんと道路ですれ違った時「おはようございます」「こんにちは」の声かけをお願いいたします。

さて、3月末日をもって、組長の堤誠也様、角田鍛様、伊藤文彦様、木村利枝様が退任され、後任に福原誠一郎様、遠藤宗一様、県猛男様、市川貴代様が就任されました。退任された皆様、大変ご苦労さまでした。

(自治会長 根岸 貞夫)



初の総合優勝 桃井地区市民運動会

5月18日に行われた桃井地区市民運動会において、南町一丁目が初の総合優勝に輝き、優勝旗を持って凱旋しました。自治会始まって以来の快挙で、夕刻に行われた祝賀会には参加者はじめたくさんの関係者が集まり、健闘を称えあいました。関係記事が9、10ページにあります。

民生委員挨拶

皆様始めましてと、申し上げるのがふさわしい位、町内の皆様にご無沙汰しておりましたが、南町に居を移させて頂き、育成会でお世話になりました以来、20数年ぶりになります。その間自治会組織も一層整備され、写真・ゴルフ・カラオケ・・・と役員さんをはじめ町内の皆様が、様々な親睦会で、ご活躍されていらっしゃる様子を驚嘆しつつ拝見しております。この度民生委員として、皆様にお世話になることになりました、なつかしさ半分、緊張感半分の毎日でございます。地理的に比較的に自然災害にもあわず、恵まれている地域だと思われますが、2月の未曾有の大雪では、時間が止まってしまったようになすすべもなく2、3日が過ぎてしまいました。天変地異、何が起こるかわからないと言われています昨今でございますが、どうぞ皆様、いろいろお世話になることと存じますが、よろしくお願ひ致します。

(民生委員 内田文子)

寿会（相互扶助の気構え）

日頃より寿会に対してご理解とご協力を仰ぎ感謝申し上げます。

今年も昨年同様の役員体制で活動して行きますので、宜しくお願ひします。

最近の報道等によると65歳以上の認知症の人、予備を含め全国で800万人、徘徊を危惧されている人が1万人ほどで、年々増える傾向にあるそうです。町内でも独り暮らしの高齢者が増えています。それでも皆さん、それぞれ独りで頑張って生活しています。しかし、何かの時に備えての地域の方々の、お声かけや見守りが必要とも思っています。明日は我が身を自覚しながら…。そのため、健康寿命を少しでも伸ばすため、天気の良い日や体調の良い時などは、散歩などに出掛け体を動かすようにしは如何でしょう。

これからは相互扶助の精神で隣近所の高齢者にも日頃から安否の確認に目を向けて行きたいと思います。

毎月10日にサロンも開催しております。老人仲間が集まる楽しい会です。お茶飲み仲間の感覚でお出掛けになっては如何でしょう。

日帰り旅行も企画していますので、未加入者の入会を促したいと思います。今年度も役員9名体制で、運営して行きますので宜しくお願ひします。

(寿会会长 今井 積雄)

(会長) 今井積雄、 (副会長) 狩野靖俊、 (副会長) 斎藤江美、
(会計) 藤井久隆、 (監査) 船津英子、 (顧問) 佐藤修治、
(1班長) 狩野靖俊、 (2班長) 斎藤江美、 (3班長) 船津英子、
(4班長) 遊佐ミエ、 (5班長) 荒木時男、 (6班長) 狩野利子

南町一丁目 寿会「会旗」成る

このたび、寿会の標章ともいべき「会旗」が制作され披露されました。意匠は今井会長の手作りによるものです。

これからは町内の諸行事に掲げられ、寿会の慶弔の意を表すことになります。旗は団結の象徴、旗あるところ人ありと云われます。心のこもった会旗に、寿会の心意気が感ぜられます。



今年もがんばりましょう

南町一丁目のみなさま、成年会の斎藤と申します。今年4月から成年会長として努めさせていただきます。

先日、第35回桃井地区市民運動会が開催され、見事に南町一丁目が優勝できました。聞くところによると、同運動会が始まって以来の事と聞いています。来年も、このまま優勝をめざして頑張って行きたいと思います。選手たちの皆さん、本当にお疲れ様でした。本当におめでとうございます。

さて、今年も前橋祭りや餅つき大会と、成年会が担う行事が控えています。ぜひ、みなさまの参加をお待ちしています。前橋祭りの日は、みなさま方のお手伝いをお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

現在、成年会員を募集しています。どうかたくさんの参加をお待ちしていますのでよろしくお願ひします。

(成年会長 斎藤 武)

仲良し育成会

今年度、育成会会長を務めさせていただくことになりました、加藤です。上の息子が育成会に入った時に2歳だった娘も6年生となり、育成会の行事に参加できるのも最後の年となってしまいました。至らないことも多々あるかと思いますが、ご協力とご支援を賜りますよう、何とぞ宜しくお願ひ申し上げます。

現在の会員数23名、20世帯と年々減少しております。育成会の力だけでは、様々な行事に対応できなくなってきております。町内の皆様のご協力が必要です。今年度も、自治会の皆様、寿会の皆様、成年会の皆様のご協力のもと、より良い育成会を目指していきたいと思います。

どうぞよろしくお願ひします。

(子供育成会会長 加藤 美樹)

平成25年度 上毛かるた大会

平成26年度1月12日、桃井地区大会が開催されました。低学年の部（1～4年生）では1チームが、高学年の部（5～6年生）では2チームが午後の決勝に進みました。結果は、低学年は4位、高学年は5位と6位で、高学年の斎藤・曳町・西田チームが昨年度に続き市大会の出場を果たしました。

1月26日に開催された市大会では、残念ながら決勝に進むことは叶いませんでしたが、斎藤・曳町・西田チームの2年連続市大会出場は素晴らしい功績だと思います。

地区大会に向けては12月から第一集会所で連日夜遅くまで練習を行い、皆で頑張りました。また市大会へ向けての練習にもたくさんの子供達が参加してくれて、とても和やかな雰囲気の中で楽しくできました。保護者の皆様にはお忙しい中、当番や送迎などご協力ありがとうございました。公認審判員の金古さんをはじめ成年会、自治会、寿会の皆様には連日の練習にご参加下さい励ましのお言葉をいただきまして感謝申し上げます。

大会での悔しい思いは来年の大会での頑張りになることでしょう。そして大好きな上毛かるたを通して礼を知り、郷土愛をさらに深めてほしいです。
(育成会前会長 弓場 恵子)



しのぶけのくに ふたごづか

上毛かるたの中に「しのぶ 毛の国 二子塚」という句があります。このカルタには、群馬県には『二子塚』（前方後円墳）が今でもたくさん残っていて、その雄姿から当時の群馬県の繁栄をしのぶことができるとの意がこめられています。現在の群馬県は古墳の数、質において全国有数の地域で、西暦350年から700年頃までの350年間、絶え間なく、質の高い古墳がつくられ繁栄し続けた東日本で唯一の地域です。古墳の数は一万基ともいわれ、その全貌を把握するために群馬県では近く「古墳総合調査」に着手する（群馬県教委・文化財保護課）とのことです。

上毛かるた練習訪問 2014.1.8

氷雨の降る寒い夜だ。集会所の入り口に色とりどりの雨傘が並ぶ。7:00 に子供たちが集まり始め、7:10 には 22 人の子供たちが集合。しばらく子供たちはおしゃべりをしたり、じゃれ合ったりして戯れていたが、7:15、当番の保護者の方が「座ってください」「姿勢を正して」と合図すると、場内の空気が一変、シーンと静まり返った。「札を並べてください」「1 分前」「つるまうかたちのぐんまけん」・・・号令が飛びたびに緊張が高まっていく。



一回の練習が 15~20 分くらい、6 人一組（3 人対 3 人）で模擬競技を繰り返す。短時間の休憩を挟んで 4 回、子供たちは実戦さながらの真剣な面持ちで練習に励んでいた。

「ふれあい会食会」楽しく 12 月 10 日

「いきいきサロン」と一緒に

町内にお住まいの 70 才以上でひとり暮らしの方が、食事を通して交流しようと企画された「ふれあい会食会」。希望者を募ったところ、毎月行っている「いきいきサロン」の顔ぶれと重複することから「サロン」と一緒にすることになりました。

寒冷前線が通過し、小雨の残るあいにくの天候でしたが、38 名の方が元気に参加。

寿会会长の今井さんが、ユーモアを交えて健康体操を手ほどき。その後新しい趣向のビンゴゲームや豪華な会食と、会場は終始楽しい雰囲気で盛り上がりました。

今年度も、12 月の「いきいきサロン」は「ふれあい会食会」を兼ねて行うことになり、自治会ではよりたくさんの方の参加を呼びかけています。



「サンマ焼いても家焼くな」

昨年12月24日(火)～30日(月)(役員会の日は休み)、夜警と火の用心の喚起を兼ねて、自治会役員、成年会による夜回りが行われました。時間は7：30～8：30の一時間。しっかりと着込んで寒さ対策を施し、多い日で13人が町内の要所を巡りました。

日を追うごとに「火の用心」の声も大きく野太くなり、拍子木のひびきも良くなっています。口上も「猫は蹴っても炬燵は蹴るな」「サンマ焼いても家焼くな」など多彩に・・・。

今年も続ける予定ですのでご協力よろしくお願いします。

「火の用心」の声届け、夜回り



拍子木が年を締め行く火の用心

味噌作り講習会中止に

2月23日(日)に行われる予定だった味噌作り講習会が大雪のため中止になりました。2月14日から15日にかけて降った大雪の被害で味噌作りの下準備を行うボイラーが使用不能となり、復旧の目処が立たないという連絡が講師の田辺先生より入り、自治会長と相談のうえ急きょ中止を決めました。参加予定者にはその旨電話連絡し了解を得ました。



今年も150kgを超える味噌の注文があり、中止決定は非常に残念なことでしたが止むを得ませんでした。毎年味噌作りを楽しみにされている方がいらっしゃるので、今年度は是非にも実施したいと思っています。

余談ですが・・・気象庁では、2月14日から15日にかけて降った関東甲信の大雪は異常気象といえるという見解を示しました。前橋の積雪量は観測史上最多の73cm。この冬は日本だけではなく、世界各地で記録的な大雪や寒波などの異常気象が相次ぎました。アメリカでは、去年12月から今年1月にかけて、中東部を中心に氷点下30度を下回る強い寒波に見舞われました。一方でカリフォルニアでは干ばつの影響が深刻に。イギリスでは雨が降り続き、3月までの3か月間の降水量が518ミリと、104年間の統計で最も多くなりました。ロンドンのテムズ川が氾濫し、浸水被害が出たということです。想像を絶する災害が多発しています。予期せぬ災害に心して備えなければならないことを痛感します。

(生涯学習奨励員 福島 勝男)

町内各組織

(平成 26 年度)

役 职 名	氏 名	備 考
自 治 会 長	根 岸 貞 夫	
副 自 治 会 長	恩 田 学 福 島 勝 男	
会 計	池 田 宏 一	
監 事	今 井 積 雄 井 上 誠 太 郎	
組 長 1	福 原 誠 一 郎	環境美化推進委員（兼務）
組 長 2	半 田 真 男	/
組 長 3	田 口 雅 彦	/
組 長 4	藤 井 久 隆	/
組 長 5	遠 藤 宗 一	/
組 長 6	縣 猛 男	/
組 長 7	市 川 貴 代	/
寿 会 代 表	今 井 積 雄	南一サロン世話人（兼務）
成 年 会 会 長	齋 藤 武	
育 成 会 会 長	加 藤 美 樹	
児 童 民 生 委 員	庭 野 初 代 内 田 文 子	南一サロン世話人（兼務） /
保 健 推 進 委 員	福 島 廣 子 山 口 康 子 船 津 英 子	南一サロン世話人（兼務） / /
青 少 年 補 導 委 員	内 田 勝	
生 涯 学 習 獎 励 委 員	福 島 勝 男	
防 犯 委 員	庭 野 俊 俊 真 柄 悅 二 池 田 宏 一 船 津 明 彦 桑 原 幹 夫	
体 育 推 進 委 員	吉 尾 文 仁 藤 井 勝 也 谷 中 勝	前橋市スポーツ推進委員 桃井地区体育協会 会長
交通 安全 協会 南町 支部 役員	池 田 宏 一 半 田 紀 代 美 狩 野 靖 俊 川 面 智 恵 子	
カ メ ラ ク ラ ブ 会 長	金 古 義 彦	
グ ラ ウ ノ ド ゴ ル フ ク ラ ブ 会 長	田 島 健 司	
カ ラ オ ケ ク ラ ブ 会 長	今 井 積 雄	
ゴ ル フ ク ラ ブ 会 長	真 柄 悅 二	
1 号 公 園 愛 護 会 会 長	今 井 積 雄	
副 会 長	北 爪 尚 夫	
副 会 長	谷 中 勝	
副 会 長	吉 尾 文 仁	
副 会 長	池 田 宏 一	
町 内 だ よ り 編 集 委 員	福 島 勝 男 谷 中 勝	

行事計画 (平成26年4月~27年3月)

行 事 等		関 係 団 体
4月	愛護会役員公園清掃（6日） 南一いきいきサロン（10日） 廃品回収（20日） のびゆく子供のつどい（29日）	1号公園愛護会 児童民生委員、保健推進委員、寿会 育成会、成年会 育成会、体育推進委員
5月	町内各組自宅周辺清掃（4日） 南一いきいきサロン（10日） 南部地区グラウンドゴルフ大会（11日） 寿会旅行（15日） 桃井地区市民運動会（18日）	1号公園愛護会 児童民生委員、保健推進委員、寿会 体育推進委員、南一グラウンドゴルフクラブ 寿会 体育推進委員、育成会
6月	1号公園町内全組清掃（1日） 南一いきいきサロン（10日） 廃品回収（15日） 桃井地区軽スポーツ講習会（22日） 廃品回収（16日）	1号公園愛護会 児童民生委員、保健推進委員、寿会 育成会、成年会 体育推進委員、育成会 育成会、成年会
7月	「南町一丁目だより」発行（21号） 1号公園町内全組清掃（6日） 南一いきいきサロン（10日） 桃井地区スマイルボウリング大会（27日） 篠笛練習（～日） 町内ラジオ体操（下旬）	編集委員 1号公園愛護会 児童民生委員、保健推進委員、寿会 体育推進委員、育成会 祭典実行委員会（成年会、育成会） 育成会
8月	1号公園町内全組清掃（3日） 粗大ゴミ搬出（3日） 廃品回収（24日）	1号公園愛護会 育成会、成年会
9月	1号公園町内全組清掃（7日） 南一いきいきサロン（10日） 敬老祝賀会（15日） まつり囃子練習（～日） 南部地区グラウンドゴルフ大会（日） 祭り広場清掃（28日） 桃井地区グラウンドゴルフ大会（28日）	1号公園愛護会 児童民生委員、保健推進委員、寿会 寿会、成年会、育成会 祭典実行委員会（成年会、育成会） 体育推進委員、南一グラウンドゴルフクラブ 祭典実行委員会、愛護会役員 体育推進委員、南一グラウンドゴルフクラブ、育成会
10月	まつり囃子練習（～日） 1号公園町内全組清掃（5日） 廃品回収（5日） 祭り準備（5日）※テント張り他 南町一丁目祭り／前橋まつり（11、12日）	祭典実行委員会（成年会、育成会） 1号公園愛護会 育成会、成年会 祭典実行委員会 祭典実行委員会
11月	愛護会役員公園清掃（2日） 南一いきいきサロン（10日） 町内組別対抗グラウンドゴルフ大会	1号公園愛護会 児童民生委員、保健推進委員、寿会 体育推進委員、南一グラウンドゴルフクラブ
12月	愛護会役員公園清掃（7日） ふれあい会食会（10日） 「南町一丁目だより」発行（22号） 廃品回収（21日） 町内餅つき大会（21日） 生け花講習（生涯学習）（28日） 上毛かるた練習（～日）	1号公園愛護会 児童民生委員、保健推進委員、寿会 編集委員 育成会、成年会 成年会、寿会、育成会 生涯学習奨励員 育成会
1月	南一いきいきサロン（10日） 上毛かるた練習（～日） 桃井地区上毛かるた大会（日）	児童民生委員、保健推進委員、寿会 育成会 育成会、体育推進委員
2月	南一いきいきサロン（10日） 味噌造り講習会（生涯学習）（中旬） 廃品回収（15日）	児童民生委員、保健推進委員、寿会 生涯学習奨励員 育成会、成年会
3月	南一いきいきサロン（10日） 観桜町内グラウンドゴルフ大会（日） 桃井地区グラウンドゴルフ大会（22日）	児童民生委員、保健推進委員、寿会 体育推進委員、南一グラウンドゴルフクラブ 体育推進委員、南一グラウンドゴルフクラブ、育成会

のびゆく子どものつどい 風かおる一本松の下で

4月29日(火)(昭和の日)、桃井小学校の校庭、体育館で「第28回桃井地区のびゆく子どものつどい」が開かれました。曇り空でしたが、桃井小学校の校歌「のびゆくみどり におう風」の歌詞そのままに、心地よい風が葉桜を揺らしていました。

校庭では、「びん・缶釣り」、「ストラックアウト」(南町一丁目が担当)、「グラウンドパターゴルフ」、「らくがきせんべい」などのゲームや遊びのほか、警察コーナー(パトロールカーの展示、乗車体験)、消防体験コーナー

(消防車展示、水消火器体験等)など・・・体育館では「輪投げゲーム」「ダーツゲーム」や一中生による科学実験など、多彩な催しが各町内の保護者やボランティアのみなさんによって繰り広げられました。どの会場も子供たちでいっぱい。

最後に体育館で行われた第一中学校合唱部・吹奏楽部の演奏では、満館の来場者から盛大な拍手が送られていました。

参加自由ということで出かけましたが、おみやげもたくさんいただき、半日を孫と一緒に楽しませていただきました。



列をなす「ストラックアウト」

《特集》桃井地区市民運動会

万歳、南町一丁目

南町一丁目初めての優勝。優勝旗を受け取ったときは、思ったより重いのとうれしいのとでとても緊張しました。

対抗競技の団体縄跳びでは、息を合わせて一回でも多く跳べるように、ボール渡しではボールを転がさないように素早く次の人へ、親子リレーでは順位を下げないように次の人へバトンを渡そうと一生懸命がんばりました。

ぼくたち六年生にとっては小学校生活最後の地区運動会でしたが、南町一丁目の人たちみんなでつかんだ優勝は、とてもよい思い出になりました。ありがとうございました。(小林 史弥)

優勝は 三世代の団結 親子リレーで逆転

五月晴れの桃井小学校でおこなわれた市民運動会。南町一丁目を先頭に入場行進、南町一丁目（昨年2位）のトロフィー返還、南町一丁目・小林君の選手宣誓と、なにやら南町一丁目づくしの開会式だった。

8：45、プログラムが開始されると、いつもは苦手としている最初の町内対抗競技「団体縄跳び（小学生、父母）」で1位に。次の競技「グラウンドゴルフ（長寿会）」も2位と大健闘。その後の競技も大きな取りこぼしなく、最終町内対抗競技「親子リレー」を前に総合上位につけた。1位（千代田一丁目）とはわずか30点差。一発逆転の可能性は十分ある。

そしてフィナーレ。鮮やかなバトンリレーで、紫色のゼッケンが、怒涛のようにゴールになだれ込んだ。



町別対抗競技による成績順位

		団体 縄跳び	グラウンドゴルフ	綱引き	紅白 玉入れ	ボール 渡し	晩酌 運び	親子 リレー	合計	順位
南1	80	65	0	40	50	50	70	355	1	
千1	45	80	10	60	80	40	20	335	2	
紅2	60	45	0	70	60	30	50	315	4	
大1	10	10	10	30	10	10	10	90	8	
大2	45	30	10	10	20	20	80	215	7	
大3	20	45	10	80	70	80	30	335	2	
紅1	30	20	0	50	30	60	60	250	6	
本1	70	65	10	20	40	70	40	315	4	

桃井地区運動会に参加して

運動会当日、自治会長の根岸さんから「秋月さん、今年は優勝できるかな？」と話しかけられ、内心、無理かなと思いつつ、「今年は総合優勝できると思いますよ。」と返事をしました。後からちょっと言いすぎたかしらと思いましたが、結果は、南町一丁目、総合優勝でした。本当に爽快な気持ちでした。準備や当日、参加して下さった皆様、本当にありがとうございました。

(秋月 幸子)



ママと赤ちゃん

ママと赤ちゃんのすこやか健康教室が、6月9日に六供公民館で開催されました。南町一丁目からも6組（12名）のママと赤ちゃんが参加。体重、身長の計測、健康相談、保育士さんによる親子遊びやリズム遊び、絵本の読み聞かせなど楽しい時間を過ごしました。そして、忘れがちなママの健康づくりについての話もあり、地域での仲間づくりにつながっていければいいなあ～と感じています。



毎年、春と秋に実施しています。参加して下さったママとお子さんたち、お疲れ様でした。

（保健推進委員）

寿会の旅行を終えて

去る15日、幸い天候にも恵まれ、新緑の中一路富岡市に向かった。6月には世界遺産に登録される予定の富岡製糸場では、ボランティアの方から細かく説明を戴き、日本の生糸が世界に送られた等大変有意義な研修でした。

更に一の宮貫前神社にて長寿祈願をされ、小幡城主織田家の庭園の散策、また本県がコンニャク生産日本一を誇るコンニャク製品の生産販売を行なっているセンターの見学等、我々個人ではなかなか行けない処を一日ゆっくりと楽しく過ごすことが出来ました。

この旅行については役員会で日時、行き先を決定する訳ですが、細部の事項（途中の休憩場所、昼会の場所、バスの駐車場）等事前に会長、副会長さんが現地に向かい決定する訳で、大変なご苦労があると思います。あらためてお礼申し上げます。

余談ではありますが、当町の長寿会の旅行は平成7年より実施し、年1回一泊二日の温泉地を重点的に実施されました。当時は旅館の送迎バスで行くため観光等は出来ないで出席者も少なくこのため宿泊旅行は中止し、長寿会独自にバスを借上げて旅行をしましたが、運転する人の負担もあり、平成17年より日典さんのご協力を戴き、年2回の日帰り旅行を実施することとしました。このため、神社、仏閣、観光地等近県（栃木、茨城、東京、埼玉、長野、新潟）は殆んど実施することが出来ました。



2014/05/15

その後日典さんの都合により平成23年より年1回の実施を行なうこととなりました。今後は会員の方々の体に負担のかからないよう近辺でゆっくり一日を楽しめる場所を選定して戴きたいと思います。今後とも皆様のご協力宜しくお願ひ致します。

（荒木 時男）

南一カメラクラブ

5月11日(日)、南一カメラクラブでは飛騨高山へ撮影旅行に行ってきました。

往路では交通状況が悪く約5時間かかりましたが、幸運にも午前中だけ開催される高山の朝市に間に合いました。飛騨の野菜や果物、郷土の漬物など並んでいる様子を見学たくさんのお土産を買ってくることができました。

飛騨は小京都とも言われているように、江戸・明治の時代をそのままに生き抜いてきたような町並みで出格子に町家のれんをくぐって中に入れば広土間、豪快な吹き抜けに太い柱や梁が印象的でさらに造り酒屋の軒には酒林がさがり、時代をうかがわせるような感じでした。

酒蔵と飛騨牛、高山ラーメン、飛騨そばが有名ですが、まずは飛騨の日本酒を味わって次に食事、カメラクラブの皆さんは飛騨牛を選び感動しながら味わっていました。

日本三大祭りの一つと言われている高山祭で使用される山車が屋台館に展示されているので見学に行く予定でしたが、食事に時間がかかってしまい惜しくも断念しました。

最後に飛騨の里民俗村で昔ながらの面影がある古き良き伝統的な山里の暮らしが再現されているところを見学し皆さんで記念撮影及び個人撮影を楽しみました。



カメラクラブの皆さん朝早くから夜遅くまでご苦労様でした。

(金古 義彦)

ほのぼのと 歌の虜(とりこ)に カラオケクラブ探訪

カラオケの器機が新しくなった。アンプ、スピーカー、コマンダー、選曲(操作)リモコン等々、カラオケセットがまるごと最新鋭のものに替わったのだ。通信カラオケ(オンラインではないが)で、昨年暮にデータ更新されているので、新曲も含めてざっと一万曲以上収録されている。3年に一度アップデートする予定なのでカラオケ店のものと遜色ない。

勧められて一曲歌わせてもらった。音程が狂ったり声が掠れたりしていたが拍手をしてくれた。

毎月、第一、第三水曜の午後1時半から3時半まで、歌を楽しむ。現在会員数は11人。一人が三曲ぐらい歌える。マイクの休む間がないくらい次々に歌が出てくる。

歌を聴くのも楽しい。「この歌なつかしいね」「はやったねこの歌」「これはいい歌だな」・・・お茶や飴で喉を潤しながら感想がもれる。

会長の今井さんがリモコンを操作しながら言う。「われわれは歌手じゃないんだからうまい下手は関係ない。大きな声を出して歌を楽しめばいいんだ」。皆さん優しい。

探訪のつもりがその気になって、私も会員になってしまった。

ウォーキングバス ボランティアを募集しています

ウォーキングバスは、集団下校する児童を安全確認ポイントで見守るボランティアです。バスが決められた時刻にバス停を通過しながら目的地に行くのに似ており、車は使わないので「ウォーキングバス」と呼んでいます。ウォーキングバスが始まって今年で9年目、この間事故や事件に遭うことなく下校の安心をサポートしてきました。

南町一丁目では当初 16 人のボランティアで出発しましたが、高齢化のため現在は 12 名（育成会保護者を除く）となっており、人手不足の状態です。

南町一丁目の担当は一中の北西の信号で、そこに 3 時 20 分ごろから子供たちが通過するまで、約 30 分間立ちます。ボランティア一人の分担は一ヶ月に一回か二回、希望の曜日を選択できます。

やりがいもあります。町内の子供の様子を見ることもできますし、腕章をつけて立っていることで、犯罪の抑止効果もあるそうです。80歳台で頑張っていらっしゃる方もいます。「私にもできるかしら」とお思いの方、是非参加してください。

ご協力いただける方は、自治会長に、お名前、連絡先等をお話ください。



待ちどおしい山車新装 安全点検も実施

数年来懸案となっていた山車の化粧直しが、このたび関係者の協力で実現する運びとなりました。山車の枠飾り板が、一木の本格的な木彫に一新されます。

図柄は龍と虎、いわゆる「龍虎」。山車の左右横枠に配したそれぞれ 3 枚の板に、木彫の龍と虎が舞い、にらみ合うという絵図です。彫りが深く、枠からあふれ出んばかりの迫力。前後の枠も新しくなり、山車が一段と大きく雄壮になりました。

山車の新装と同時に、成年会が中心となり、車体、建屋の安全点検を実施（5月 24 日（土））。車両整備や鉄工の専門家が参加し、接合部の構造チェックやタイヤホイールのボルト締め直しなど、念入りに行なっていました。

自治会では日を改め、新装なる山車のお披露目を関係者を招き行なうことにしています。



愛護会からのお知らせ

自治会員の皆様には、1号公園の保全・管理について、毎月の定例清掃など大変お世話になっています。1号公園の、今年の除草・清掃作業の予定は次の通りです。皆様のご協力よろしくお願ひいたします。 (1号公園愛護会会長 今井 積雄)

日付 (朝6時30分より)	分担	
	町内全組	愛護会・有志
5月4日(日)		○
6月1日(日)	○	
7月6日(日)	○	
8月3日(日)	○	
9月7日(日)	○	
10月5日(日)	○	
11月2日(日)		○
12月7日(日)		○



挨拶のある町に 自治会からのお願い

あるマンションを訪ねた時のことです。階段を上っていくと中学生くらいの男子から「こんにちは」と声をかけられました。私も思わず「こんにちは、どうも」と声を返しましたが、階段を上って廊下に出ると、今度は別の男性から同じように挨拶の声をかけられ、そのマンションのアットホームな雰囲気に、気持ちのよい思いをさせられたことがあります。

金子みすゞの「こだまでしょうか」という有名な詩のように、声をかけられ、返事を返す・・・そのことで気持ちが通い合うことがあるのです。

青少年健全育成協議会では「ちょっとしたあいさつや声かけが、青少年の健全育成につながります」と、挨拶の励行を呼びかけています。子供たちに挨拶の声をかけてください。

編集後記

前号の発行から半年、本当にいろいろなことがありました。ドカ雪が降ったり、市民運動会で初優勝したり、まさに驚天動地です。町内活動もにぎやかで、追いかけるのに息がきれます。 (編集委員／生涯学習奨励委員 福島 勝男)

第1号からのすべてをwebに掲載しています。どうぞ、ご覧ください。

<http://www.ops.dti.ne.jp/~yanaka/3731/> (編集委員 谷中 勝)

